

委員会視察を実施

■総務厚生・産業建設委員会

2月4日、5日の2日間において、沖縄県西原町及び読谷村を視察した。

西原町では、公園整備を行い、空港に近接した好立地条件を活かし、多くの観光客を呼び込むことに成功している。また、商工会とも連携し、地域資源を活用した新たな特産品をつくることで地場産業の発展を図っている。

読谷村は、県内で初めて、議会基本条例を定めており、



▲西原町での視察



▲読谷村議会議長からの説明

平成20年度には全国町村議会特別表彰を授賞されるなど、先進的な取り組みを行う議会である。

条例には、一般質問時に対話形式で分かりやすい一問一答方式や、住民への議会報告会などが明文化してある。条例設置前にも取り組みは行われていたが、議会の質を高く保ち続けるために条例を定めたとの説明を受けた。

色々な取り組みの説明を受ける中で、議員席最前列の一般質問席への変更や、町内放送での議会開会日のお知らせなど、本町でもすぐに行えることは、3月定例会より導入している。

■文教委員会

2月2日に静岡県伊東市立南小学校を視察した。

伊東市では小学校1・2年生に書道科が設置されている。礼儀、集中力を養成し、学力の向上と豊かな心を持った人格形成を目指すための「書道教育特区」に認定されている。

授業は落ち着いた雰囲気の中で行われ、児童は集中して半紙に向かっていた。本町でも今年度から低学年向けの書道教育が始まるが、大いに期待したい。



▲伊東市での低学年の書道

委員会として、引き続き今後の町づくりに向けた調査を行っていく。

自治功労者表彰を受賞

2月17日、平成21年度自治功労者等表彰式が開催され、議員在職14年以上として、富士議員と山吹議員が広島県自治功労者表彰を受けた。



富士一彦 議員



山吹富邦 議員

広報コンクール「最優秀賞」を受賞

自治功労者等表彰式が行われた当日、併せて広報コンクールの表彰式が行われた。このコンクールは、議会



最優秀賞 (第69号)



特選 (第70号)

写真部門

今回の受賞を励みとし、今後も読んでいただく皆さんに、より分かりやすい議会広報紙を目指して頑張りたい。

広報紙部門

約130基の亀趺が確認される中、なんと熊野町にはそのうち3基も存在するという。熊野での最古はこの1年前、文久3年(1863)刻銘のある亀趺墓が萩原にあるそう。それにしても、この亀趺のすばらしさはそれだけではないらしい。先生は、亀趺の中でも台石に波紋様の彫り物が施されているのは全国でも唯一、と続けられる。さらに、前に設置されている石灯籠を指して、「この灯籠をよく見てごらん、一石なのですよ」と。



▲「一石の石灯籠」

聞けば太刀掛先生は、そもそも殿様級でなければ建立できないとされた亀趺墓がなぜ熊野町に存在するのかわかるか?これをなんとか将来文化財として残したい、という思いから研究をスタートされたとおっしゃるから驚きである。これからの季節、周辺には山の神や山つつじが見られるこの地域に、新緑を浴びに出かけてみてはいかがでしょうか?

取材 伊藤真由美

発見! 熊野町の「工工」ところ。シリーズ第22回

全国各地にある名所や名物。もちろん熊野町にもたくさんあります。そんな町内に埋もれた、さまざまなモノ・場所などの「工工ところ」を紹介するコーナーです。

「亀趺(きふ) ドンガメの墓」～ vol. 6 シリーズ石造物～

顔を出した大きな亀(亀趺)が、中央の竿石をしっかりと支えている。これは、元治元年(1864)刻銘の孫井田庄三郎の墓。熊野筆の販路開拓に尽力された功労者のお一人である。



▲「亀趺」

役場前の県道瀬野呉線を苗代方面へ進み、呉地公園を右手に見ながら、「砂橋」手前を石森セメント方面へ左折。坂道を200mほど登ってゆくと、ほどなく山すそに広がる墓石群が見えてくる。お目当ての「亀趺」は、ちょうど「山の神」の看板を目印にして、その一角に立っている。

「亀趺」とは、亀の形に刻んだ碑の台石のこと。この地域では、以前から「ドンガメの墓」と呼ばれて親しまれているようです。今回の石造物は、呉地地区にある「亀趺」をご紹介します。

ているではないか。あらまー、まるで亀が海を泳いでいるようだ!!ふむふむ、なんとも緻密でユーモラスな彫刻である。いったい石工はどなたであろうか。今回は、日本の亀趺のご研究をされている熊野町在住の太刀掛初栄先生(75歳)にご一緒させていただいてお話を伺った。



▲「亀趺の説明をされる太刀掛先生」

先生は、平成14年に「日本の亀趺の研究」という論文を出されている。その内容は、日本だけではなく、世界中の亀趺を訪ね歩いて現地収録されているという、亀趺研究においては、他に類を見ない充実した論文である。それによれば、この石工は、呉市吉浦の石工弥左衛門と記載がある。そもそも吉浦は、台風などの際に石垣や堤防を築き集落を守るために、石工の技術が発達したそう。そしてその一番弟子、細本栄次(亡昭和初年)の子孫が呉地にお住まいなのだと話してくださる。

亀趺の発祥は、今から約2千年前の中国後漢時代。現在では、全国で